

### 第3回 ふれあい観察会

#### 秋風そよぐ鹿島川・里山を歩く

莊子 淑子（四街道市）

日 時：2016年10月22日（日）9～12時 天候：曇り

場 所：千葉市若葉区谷当町周辺

参加者：大人14名 子ども3名 計17名

指導員：小林義和 莊子淑子 谷 英男 晝間初枝 水野和年 渡辺幸子

さわやかな季節、鹿島川のほとりや谷津を散策、自然環境や生きものを観察しようと3班に分かれて出発しました。

地名「谷当町」はどこに行っても谷に突き当たるということで名付いたそうです。この谷津は水量の多い湧水群で1) 木の根からしみ出す、2) 湧水が出る、3) 谷津から出る の3種の湧水の出方があるそうです。また古東京湾のころの貝層があり、現存するトリガイ・カガミガイ・ブラウンスイシカゲガイなどの貝も見られます。

鹿島川は、昭和の森（千葉市緑区土気町）から印旛沼に流れ込む利根川水系の1級河川で県が管理しています。水質は生活排水や農業用水が少し入っていますが、中流域でも上流とあまり変わらないきれいな水質だそうです。川の中にはコイが見られ、カルガモも数羽見られました。両岸には花粉症の原因となるオオブタクサやカナムグラが繁茂し、ヨシ・オギ・セイタカアワダチソウ・アレチウリ等々が場所の取り合いをしているようでした。その中でもカナムグラのホップの様な雌花やアレチウリの大きな金平糖の様な実に驚きの声がありました。

鹿島川を後にしてヤナギタデ・ムラサキエノコロ・カラムシなどを観察しながら姥嶽神社へ入り、ビナンカズラの赤い実やスギ・スダジイ、ヒサカキ・ツバキなど歴史を感じる大木を観察、谷津へ向かいました。

この谷津の田はヨシ原を開墾して5年目の収穫を終えた後でした。谷津の林縁にはガマズミ・トキリマメ・コマユミ・ゴンズイ・カマツカ・ヤマコウバシなどの赤や黒の実、クヌギ・コナラのドングリやヌルデの虫こぶ、ヤクシソウ・ノハラアザミ・アキノウナギツカミなどの花が咲いていました。田んぼ側の土手にはユウガギク・ミゾソバ・ハナタデ・ボントクタデなどがたくさん見られました。カワウ・モズ・セグロセキレイ・アオサギ・ヒヨドリなどの鳥、二ホンアカガエル・サワガニ・キタキチョウ・クロコノマチョウ・ノシメトンボ・ジョロウグモなどの生き物たちにも会うことができました。

参加者の方から「ゆったりと観察出来て良かった。」「植物だけでなく自然環境や歴史・地形など様々なことが聞けて楽しかった。」など感想を頂きました。曇りでしたが観察会としてはとても良い日和で秋の自然を楽しむことができました。

